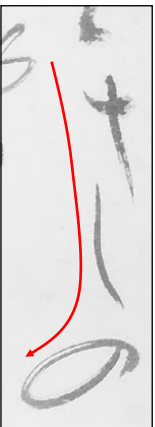


分は少し右に流してはいるが、次の「悲」の一面目の角度を合わせていて、行とせずれた表現になっていないことは注意して書きたい。

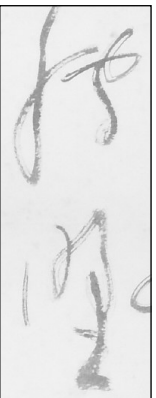
書き出しは、少し濃い目の墨の調子で太めの線で大きめに表現している。長い「し」の部



表現になっているのは心憎いばかりの工夫が感じられる部分だ。



一行目に添わせる形になっている「山谷」

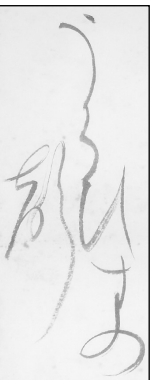


「轉」の字はできるだけ正確に書いてほしい。情感豊かな表現ではあるが、それに気を取られ過ぎると失敗のもとになる。



右上がりの「鳴」から小さく左右に動く「くら」、さらに右下がりの「牟」の字形の繋が

りとはとても美しく、是非真似てほしい部分だと思う。



「うくひす」は少しずつ右に流れていて「の」で少し流れを戻している。こうすることにより「聲」の置く場所と字形が決まって来る。実にぴったり安定していて動かしようのない字配りになっていて感動する。

安し悲きの山谷こ盈轉野つ可き二

今八鳴くら牟うくひすの聲

今月の課題は、三行(聲は三行目の一部と考えて)書きの散らし作品になっている。一行目と二行目の行間を狭くして、一体感を出しているが、その行間での駆け引きは味わい深いものがあり是非よく観察してみしてほしい。さらに末尾の「聲」の字はこの一文字だけ横に出しているのだが、単に書くスペースが足りなかったから横に書いたというのではなく、それに至るまでの周到な準備がなされていることを認識して書いてみてほしい課題だ。